

生体の科学

SEITAI NO KAGAKU

Vol.73 No.2 — 2022 Mar. - Apr. 目次

特集 DNA 修復による生体恒常性の維持

特集「DNA 修復による生体恒常性の維持」によせて 宮川 清 94

I. DNA 修復の分子メカニズム

DNA 修復の多様性と複雑性 宮川 清 95

酸化 DNA 損傷とその修復機構 大野みずき・中津可道・續輝久 99

ヌクレオチド除去修復反応の翻訳後修飾による高次調節
..... 若杉光生・松永 司 105

放射線による DNA 損傷の修復 松本義久 110

DNA 鎖間架橋の修復 石合正道 115

DNA 複製と修復 増田雄司 120

DNA 損傷応答におけるヒストンダイナミクス 井倉 毅 124

II. DNA 修復と疾患

遺伝性紫外線高感受性疾患 錦織千佳子 129

放射線高感受性疾患 小林純也 134

早期老化における染色体不安定性 嶋本 顕 138

循環器における DNA 修復の役割 野村征太郎 143

III. 生体恒常性維持における DNA 損傷応答

DNA 損傷応答とゲノム恒常性維持 鈴木啓司 148

低線量放射線の生体影響 田代 聡・衣笠泰葉 154

ライフステージと DNA 損傷応答 今岡達彦 158

IV. がん治療における新たな方向性

がんの放射線治療抵抗性
..... 高橋 樹・神邊剛生・白井友香理・原田 浩 162

DNA 損傷応答を標的としたがん治療 細谷紀子 168

連載講座 ヒトを知るモデル動物としてのゼブラフィッシュ-4

多細胞システムを最適化し疾患発生を予防する

“細胞品質管理機構”の理解 石谷 太 173

仮説と戦略

組織幹細胞の起源の探索 森田梨津子・藤原裕展 179

お知らせ 185 次号予告 185 財団だより 186・187 あとがき 188